

JAK3阻害剤VII, AD412

Cat. No. CEI-1068

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 細胞透過性インドール-3-プロパナミド免疫抑制剤で、JAK3のキナーゼ活性を選択的に抑制することが示されています（それぞれ90 μ Mおよび30 μ Mで81%および36%の抑制）し、JAK2のそれ（それぞれ90 μ Mおよび30 μ Mで29%および0%の抑制）に比べて抑制効果が高く、IL-2刺激されたCTL-L2細胞においてAkt、STAT5a/b、Erk1/2のJAK1/3依存的リン酸化を減少させますが、INF- γ 刺激されたU266培養におけるJAK1/2依存的STAT1リン酸化には影響を与えません。ConA刺激されたマウス脾細胞およびPHA刺激されたヒトPBLの増殖をin vitroで抑制することが報告されています（IC50 = それぞれ17および25 μ M） および、マウスにおけるアレルギー性過敏反応を改善するのに有効であることが示されています（1日あたり50 mg/kgの経口投与で約78%の改善） および、心臓移植を受けたラットの生存期間を延長するのに有効であることが示されています（60 mg/kg/日、経口投与で3倍以上の延長）。

別名 JAK-3, JAK3_HUMAN, JAKL, L-JAK, LJAK

製品情報

CAS登録番号	796041-65-1
分子式	C23H20ClN3O
化学名	N-(ピリジン-4-イル)-3-[1-(4-クロロベンジル)インドール-3-イル]-プロパンアミド
分子量	389.9
純度	>HPLCによる95%
標的	JAK3
溶解度	DMSO

保管・発送情報

保存方法 +2 センチグレードから +8 センチグレード